

# 家の光

表紙の人

木村 文乃 さん

6月号読みどころ



『家の光』読者体験手記 **わたしを救った、あの言葉**

**最優秀作「花のいっぱいも活けれん嫁さんだかえ」**

応募総数 162 編の中から選ばれた 6 編の入選作のうち、今月号では、  
佐野カナエさん（JA あいち三河管内）の最優秀作を掲載します。  
山あいの農家に嫁いだ佐野さん。嫁いだ家での窮屈な生活から佐野さんを救ったのは、近所のおじいさんの「花のいっぱいも活けれん嫁さんだかえ」という言葉でした。  
周囲の言い分や、時代の流れに耐え忍ぶことができたのは花があったから。佐野さんは生きる道を届けてくれたこの言葉を、現在の幸せとともに振り返っています。

(P47~49)

〈特集〉

**梅名人になろう!**

今年も、梅仕事に取りかかる時季が近づいてきました。そこで梅の一大産地、和歌山県の農家のみなさんに、普段食べている梅干しの漬け方や、梅干を使った料理レシピを教えてくださいました。

さらに梅加工グループや JA 直伝の梅酒や梅ジャム、梅エキスなど、さまざまな加工品の作り方も紹介します。日本の食卓に欠かせない食材の一つ、梅を目いっぱい楽しみましょう!

(P26~45)

**家族で考える 農協改革Q&A**  
**なにをしているの?**  
**規制改革推進会議**

JAグループは現在、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の基本目標の実施に向けて自己改革を進めています。

その改革期間中にもかかわらず、昨年、規制改革推進会議から「農協改革に関する意見」が出されました。そして、この「意見」は今後も続く可能性があります。規制改革推進会議では、どのような意図で、どのような議論がおこなわれているのか、確認していきましょう。(P50~55)

**農** ライフのすすめ  
**ふわふわのワタ**

かつては全国の農村で栽培されていたワタ。いまや国内自給率はほぼゼロになってしまいましたが、近年その価値が見直されています。

そんなワタの育て方、紡ぎ方を、「鴨川和綿農園」の田畑美智子さんに教えていただきました。

家庭でワタを育て、紡ぐ喜びを感じて、ワタのある気持ちいい生活、してみませんか。

(P81~85)

**今こそJAの**  
**女性のみなさん** **底力**  
**声を上げましょう!**

全国漁協女性部連絡協議会  
会長理事 吉村榮子さん

JAグループの自己改革が進められているいま、同じ協同組合である漁協の女性部からは、農業やJA組織はどのように見えているのでしょうか。

全国の漁協女性部のリーダーである吉村榮子さんに、自身の取り組みと併せて、思いを伺いました。(P100~101)

毎日食べたい  
**寒天レシピ**

秋田の寒天名人  
照井 律さんに教わる  
毎日食べても飽きない  
アイデアレシピの数々

- ・リンゴ寒天
- ・サラダ寒天
- ・卵寒天
- ・ソーめん寒天

(P66~71)

わが家の自給力アップ&庭仕事をもっと楽しく  
**家庭園芸**

- ・丈夫で長年楽しめる健康野菜 アスパラガス
- ・和洋に使える重宝野菜 ステックブロッコリー
- ・群植して華やかに **モナルダ**

(P195~201)

JA なるほど質問箱  
どうして、直売所の野菜は  
新鮮なんだろう?  
(P131~133)

**募集**

- 美輪明宏の人生相談 (P57)
- わが家の実験 (P72)
- つながる ひろがる 絵手紙のわ (P107)
- 「あなたとわたしの縁側ティータイム」 (P152)
- 「子どもの目」企画 (P152)
- 第32回「家の光童話賞」 (P153)
- 家の光読者文芸 (P157)
- 『家の光』読者アンケート (P159)
- 第15回ザ地産地消 (P161)
- 家の光料理コンテスト (P161)
- 「家庭園芸」 あなたの悩みを教えてください (P200)

**「家の光メールマガジン」**  
**配信を始めました**

**hikari\_mm@q.bmv.jp** までメールを  
お送りいただくと、自動で配信の登録  
ができます。

